



伊藤 房代 議員

熱中症対策について

問

小・中学校へ冷水機を設置
はできないか伺う。

答

冷水機を設置し、安全な水
質の飲料水を提供するため
には、各学校において常に適切な
維持管理に努める必要がある。そ
のためには、国の「日常における
環境衛生に係る学校環境衛生基
準」を満たすことが大切であり、
飲料水が外部からの汚染を受けな
いように、毎日の通水確認、ノズ
ル・受皿やタンクなどの洗浄、フイ
ルター交換などの水質の維持管理
作業が必要となる。学校では熱中
症対策の一環として、水筒を持参
して授業の合間や体育の授業中
など、日常的に水分補給をするこ
として指導が定着しており、市と
して冷水機を設置する予定はない。

問

庁舎などの公共施設へ冷水
機の設置はできないか伺う。

答

現在のところ、公共施設に
新たな冷水機を設置する予
定はない。冷房が効いている建物
内では熱中症のリスクが低く、水
分補給については自動販売機を利
用してもらえればと考えている。

公園の安全対策について

問

旭スポーツの森公園の駐車
場が夜になると真っ暗にな
り、防犯上大変危険な状況。街灯
を増やすなど対策はできないか。

答

旭スポーツの森公園駐車場
内の照明については、より
広範囲で明るさが確保できるLED
化を進めており、全54か所のうち
18か所について既にLED化を
終えている。公園駐車場の照明に
ついては、防犯上の安全対策のほ
か、近隣住宅への配慮やLED化
等による明るさなどを検討しなが
ら進めていきたい。

問

旭スポーツの森公園内の樹
木が伸び過ぎて見通しが悪
くなっているのか、枝の剪定はで
きないか伺う。

答

旭スポーツの森公園につい
ては年間を通し委託業者と
契約し、計画的に樹木剪定を行っ
ている。また、担当者が定期的に
公園内の見回りを行い、危険性が
ある場合、随時対応もしている。



高橋 美千子 議員

児童手当の支給について

問

本市で外国人児童手当の誤
支給があったか伺う。

答

支給要件を満たさない外国
人への誤支給の事例はない。
市独自で誤支給の防止対策
はできるか。

問

受給資格者や対象児童の居
住実態の把握が重要となる
ので、関係課と連携し必要な情
報を共有するなどして、支給要件を
満たさない外国人へ児童手当を支
給することがないように、適切な支
給事務の遂行に取り組む。

農業の担い手不足解消について

問

市で現在行っている農業お
試し体験やボランティアな
どの取り組みの具体例を伺う。

答

都内で開催される新規就農
を希望する人向けの移住・
定住イベントへの出展、市内農業
者のもとで1泊2日の就農体験の

実施、就農を目的とした地域おこ
し協力隊の受け入れ及び活動支援
などを行っている。

問

人材確保及び経営力強化に
対する取り組みを伺う。

答

海匠農業事務所、ちばみど
り農協、農業委員会、日本
政策金融公庫と連携し、旭市担い
手育成総合支援協議会を設置し、
ワンストップの支援も含めた活動
をしている。

問

新たな試みとして、農家の
事務負担を少しでも減らす
ために、ワーケーションや遠くか
ら来たボランティアの方向けに、
市が保有する空き家、市営住宅等
を活用した共同宿舎の整備を推進
すべきと考えるが、見解を伺う。

答

公有財産を活用し共同宿舎
を整備する予定はない。

問

外国人材だけに頼ることな
く農業の担い手不足を解消
するためにどのような農業支援を
していくのか見解を伺う。

答

県やちばみどり農協などの
関係機関と連携し、新たな
労働力の確保に努め、営農の土台
づくりを支援していく。また、経
験を積んだ農業者に対しても経営
力を強化するための支援を行うこ
とで、持続可能な農業を地域全体
で推進したいと考えている。